

授業科目名	看護学基礎演習Ⅰ				科目コード	N20201	
担当者	矢野 美紀				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	30回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)医学の基礎である、人体の構造と機能(循環器系・呼吸器系・骨格と関節・筋・神経等の運動器系他)の系統的について学習している、科目の強化科目である。演習科目であり、テキストベースの授業形式ではなく、スケッチや人体模型を使用する等の具体的なイメージを問題演習等で行ったり、確認テストの実施やフィードバックにより、学生自身がテキストの熟読等の方法により自学自習ができるまでの基礎的知識の定着を目指す。さらにこのベースとなる、学習の仕方やノートのまとめ方などスタディスキルの分野の強化も図る構成となっている。							
(到達目標) 1. 循環器系・呼吸器系・消化器系・泌尿器系・内分泌系の構造が理解でき説明ができる。 2. 骨格と関節・筋・神経の運動器系について、構造と機能が理解でき説明できる。 3. スタディスキルが早期から身につけて、他の科目と相乗効果で発揮できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
「人体の構造と機能Ⅰ(基礎1)」と連動した講義内容であり、グループおよび個人作業および口頭試問等の演習を主体とするため、積極的に取り組むこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回	講義内容 (合:クラス合同) *内容は人体の構造と機能の進行状況と並行するため、別途指示する。				担当者		
1	◎スタディスキル講座:(大学で学ぶことは、自己分析と課題の設定)			16	演習⑧:講義『人体の構造と機能』の復習		矢野
2	◎スタディスキル講座:(大学のルール・マナー・学習の進め方)			17	演習⑨:講義『人体の構造と機能』の復習		
3	◎スタディスキル講座:(ノートの書き方/レポートの書き方)			18	◎演習⑩:強化試験2		
4	◎スタディスキル講座:(図書:文献検索/資料収集方法について)			19	◎演習⑪:補講(強化試験2)		
5	◎スタディスキル講座:(看護教員による看護の魅力を学ぶ)			20	演習⑫:講義『人体の構造と機能』の復習		
6	◎看護の魅力を聞いて看護に必要なもの・1年後の目標設定			21	演習⑬:講義『人体の構造と機能』の復習		
7	◎スタートアップテスト			22	◎演習⑭:強化試験3		
8	◎スタートアップテストの講評および補講			23	◎演習⑮:補講(強化試験3)		
9	演習①:グループワーク(テーマ:看護の魅力を聞いて)			24	演習⑯:講義『人体の構造と機能』の復習		
10	演習②:グループワーク(テーマ:勉強法を共有し、方法論を見出す)			25	演習⑰:講義『人体の構造と機能』の復習		
11	演習③:グループワーク:発表会			26	確認テスト		
12	演習④:講義『人体の構造と機能』の復習			27	国試対策講座		
13	演習⑤:講義『人体の構造と機能』の復習			28	◎演習⑱:強化試験4		
14	◎演習⑥ 強化試験1			29	◎演習⑲:補講(強化試験4)		
15	◎演習⑦ 補講(強化試験1)			30	◎演習⑳:まとめ		
成績評価方法							
定期試験 80%・課題提出物評価および演習態度・単元ごとのテスト評価等 20%とする。ただし、受験資格を満たない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ナーシング・グラフィカ 解剖生理学		武田裕子:林正健二 編		メディカ出版 第5版		978-4-8404-7831-1	
ステップアップ 解剖生理ノート		増田敦子 監修		サイオ出版		978-4-9071-7603-7	
生体のしくみ 標準テキスト 第3版【動画付】		高松研		医学映像研究センター		978-4-8404-5374-5	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
系統看護学講座 解剖生理学		坂井健雄・岡田隆夫		医学書院		978-4-260-01826-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
人体の構造と機能の講義を強化する位置づけになりますので、その講義と並行して展開していきます。座学で人体の構造を学んだことを演習でより、知識を身に付けてください。楽しんでください。学ぶ喜びを感じてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
矢野 :随時対応します。または yano@hcu.ac.jp または 学習支援センターでもお待ちしております(対応いたします)。							

授業科目名		人体の構造と機能Ⅰ（基礎Ⅰ）				科目コード	N22201
担当者		加藤 みわ子				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
（概要） 医学の基礎である、人体の構造と機能について系統的に学習する。 人体の構成要素である細胞・組織から、人間の生命活動に必須となる循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、内分泌系といった内臓学、また、骨格と関節、関節を動かす筋、筋を制御する神経 といった運動器系について、構造面と機能面を並行して関連付けつつ学習する。 （到達目標） ・人体の部位・方向などの名称を間違いなく認識、呼称できるようになる ・血液および各血球の持つ性質、心臓・血管をどのように循環しどんな役割を果たしているかを説明できるようになる ・外気から体内に酸素を取り入れ、二酸化炭素を排出する過程を、循環器系と関連付けて理解できる ・消化器に分類される各臓器の位置と名称、それぞれの役割を間違えず認識できるようになる （「基礎Ⅱ」到達目標に続く）							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
・「人体の構造と機能（基礎Ⅱ）」と連続した授業として行う。 期末試験はそれぞれ行い、扱う範囲については別途説明する。 ・出欠席状況を管理するのにカードを使用する。 第1回目の授業で説明があるので聞き逃さないようにする事。 ・教科書の章ごとに、内容についての小テストを行う（予定）。 実施方法などについては授業内で随時説明する。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	解剖生理学概論： 人体を表す用語、内部環境とフィードバック						加藤 みわ子
2	骨格系：全身の構成と関節、運動の方向						
3	骨格系：各部の骨（上肢・下肢）						
4	筋系：頭部・背部・胸部の筋						
5	循環器系： 心臓の構造、循環の概要						
6	循環器系： 血管（動脈、静脈、血管の機能）、リンパ						
7	呼吸器系： 呼吸のプロセス、ガス交換						
8	呼吸器系： 呼吸器系の構造						
9	消化器系： 小腸・大腸、排泄						
10	消化器系： 口腔の構造と咀嚼、嚥下、胃の構造と消化						
11	消化器系： 肝臓、胆嚢、膵臓の構造						
12	消化器系： 肝・膵の機能、栄養の吸収						
13	細胞と組織： 人体を構成する組織						
14	細胞と組織： 細胞の構造、細胞内小器官						
15	皮膚と膜： 皮膚の構造と機能						
成績評価方法							
期末試験 70%、 小テスト・課題など 30% 小テストなどの実施回数により、評価の割合を増減することもある ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ナーシング・グラフィカ 解剖生理学		武田裕子・林正健二・編		メディカ出版 第5版		978-4-8404-7831-1	
ステップアップ解剖生理学ノート		増田敦子		サイオ出版; 第2版		978-4-9071-7675-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
人体の構造や名称は、以後の授業・実習の基本となる重要な項目です。内容をきちんと理解できるまで十分な復習が必要となります。 具体的な用語を覚えることも必要ですが、それだけでなく、人体構造や機能のつながりを把握できるように心がけてください。 また、授業内だけでなく、日常生活の中で触れる知識や自分の行動に照らし合わせ、常に理解を深めて下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問は歓迎します。ただし宇品キャンパスに居る日・時間が限られるので、授業時間やその前後を利用するか、予めアポイントメントを取るようにして下さい。掲示板で連絡することもあるので留意のこと。 Eメールアドレス:katomiwa@hcu.ac.jp							

授業科目名	人体の構造と機能Ⅰ（基礎2）					科目コード	N22202
担当者	加藤 みわ子					履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
（概要） 医学の基礎である、人体の構造と機能について系統的に学習する。 人体の構成要素である細胞・組織から、人間の生命活動に必須となる循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、内分泌系といった内臓学、また、骨格と関節、関節を動かす筋、筋を制御する神経 といった運動器系について、構造面と機能面を並行して関連付けつつ学習する。 （到達目標） （「基礎1」到達目標より続けて） ・尿の生成（糸球体ろ過、再吸収）の仕組みを説明できるようになる ・身体の主な骨格・関節・筋について、正しい位置および機能（運動）を示すことができる ・大脳、脳幹、脊髄の機能を区別できるようになる。また、自律神経の役割を正しく述べられる ・代表的なホルモンについて、その役割と分泌臓器、調節の機構について述べることができる							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
・「人体の構造と機能（基礎1）」と連続した授業として行う。 期末試験はそれぞれ行い、扱う範囲については別途説明する ・出欠席状況を管理するのにカードを使用する。 ・教科書の章ごとに、内容についての小テストを行う（予定）。 実施方法などについては授業内で随時説明する。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	解剖生理学概論：前期の復習、体の名称						加藤 みわ子
2	泌尿器系：泌尿器系の構造						
3	泌尿器系：腎臓の機能						
4	泌尿器系：尿の生成と排出						
5	泌尿器系：血液の調整						
6	血液：血液の機能、血球、凝固、血液型						
7	免疫系：免疫細胞の種類と機能						
8	神経系：中枢神経系（脊髄、脳幹、小脳）の構造						
9	神経系：脳の機能局在						
10	神経系：求心頸神経、遠心系神経						
11	神経系：末梢神経系（自律神経）						
12	感覚系：特殊感覚						
13	内分泌系：脳、甲状腺、副甲状腺のホルモン						
14	内分泌系：膵臓、副腎、性腺のホルモン						
15	生殖器系：生殖器の構造						
成績評価方法							
期末試験 70%、小テスト・課題など 30% 小テストなどの実施回数により、評価の割合を増減することもある ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者	出版社		ISBNコード		
ナーシング・グラフィカ 解剖生理学		武田裕子・林正健二・編	メディカ出版 第5版		978-4-8404-7831-1		
ステップアップ解剖生理学ノート		増田敦子	サイオ出版；第2版		978-4-9071-7675-4		
参考書							
書名		著者	出版社		ISBNコード		
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
人体の構造や名称は、以後の授業・実習の基本となる重要な項目です。内容をきちんと理解できるまで十分な復習が必要となります。 具体的な用語を覚えることも必要ですが、それだけでなく、人体構造や機能のつながりを把握できるように心がけてください。 また、授業内だけでなく、日常生活の中で触れる知識や自分の行動に照らし合わせ、常に理解を深めて下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問は歓迎します。ただし宇品キャンパスに居る日・時間が限られるので、授業時間やその前後を利用するか、予めアポイントメントを取るようにして下さい。掲示板で連絡することもあるので留意のこと。 Eメールアドレス：katomiwa@hcu.ac.jp							

授業科目名	臨床病態学Ⅰ					科目コード	N22203
担当者	学長ほか臨床医					履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 人体の構造・機能Ⅱ(臨床医学Ⅰ)では、看護師に必要な臨床医学を教育する。臨床医学を理解するためには、人体の構造と機能に関する基礎医学的知識が必要となるため、他の授業科目として行っている「人体の構造と機能Ⅰ(基礎)」の知識を参照し、より臨床医学に重要な「構造と機能」を簡明・適切に提示しながら臨床医学の講義を行う。本講では、先ず臨床医学総論を学び、更に消化器疾患、血液疾患、循環器疾患、代謝疾患、内分泌疾患、皮膚疾患及び膠原病・アレルギー疾患の領域を学習する。 (到達目標) 消化器疾患、循環器疾患、血液疾患、代謝疾患、内分泌疾患及び糖尿病や皮膚の疾患と関係する臓器の構造と機能を理解し、当該疾患の原因、症状、検査法、治療法及び予後について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
臨床医によるオムニバスの講義であり、また概ね1疾患1コマのみの講義であるので、欠席するとその項目が全く学習する機会が無くなるので、欠席をしないようにすること。また、復習の時間が少ないことから、講義の始めと終わりに実施する小テストから、各講義の重要事項を講義時間中に学修し帰宅後に必ず復習すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	臨床医学総論					嶋本 文雄	
2	皮膚疾患					宗盛 倫子	
3	消化器疾患(消化管疾患総論)					弓削 亮	
4	消化器疾患(炎症性腸疾患)					山下 賢	
5	消化器疾患(消化管腫瘍性疾患)					山下 賢	
6	消化器疾患(消化器内視鏡診療総論)					卜部 祐司	
7	消化器疾患(肝胆膵疾患)					芹川 正浩	
8	血液疾患					田丸 政男	
9	循環器①:循環器疾患の症状・徴候					佐田 良治	
10	循環器②:不整脈					中野 由紀子	
11	循環器③:狭心症・心筋梗塞					池永 寛樹	
12	循環器④:心不全・弁膜症・心筋症・心筋炎					北川 知郎	
13	循環器⑤:動脈硬化症/高血圧症					田丸 政男	
14	代謝疾患:糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症					大野 春也	
15	内分泌疾患					馬場 隆太	
成績評価方法							
小テスト 30%、期末テスト 70%							
講義への出席と積極的な授業の参加状況及び各講義の始めと終わりの小テストと学期末試験等により総合評価する ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
わかりやすい内科学(第4版)		井村裕夫編集		文光堂		9784830620300	
看護学NICE病態・治療論(11)皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患		片山一郎		南江堂		9784524237524	
看護学NICE病態・治療論(13)産科婦人科疾患 (※臨床医学1~4共通テキスト)		百枝 幹雄		南江堂		9784524237548	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
自宅学習では、人体の構造と機能のテキスト及び本講義のテキストを参照し、配布資料の復習をすること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ること。							
メールで連絡する。なお、事務宛 kyoumu@hcu.ac.jp に担当教員名及び内容を送り、転送依頼をする。							

授業科目名		臨床病態学Ⅱ				科目コード	N22204
担当者		臨床医				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 人体の構造・機能Ⅱ(臨床医学3)では、看護師に必要な臨床医学を教育する。臨床医学を理解するためには、人体の構造と機能に関する基礎医学的知識が必要となるため、他の授業科目として行っている「人体の構造と機能Ⅰ(基礎)」の知識を参照し、より臨床医学に重要な「構造と機能」を簡明・適切に提示しながら臨床医学の講義を行う。本講では、先ず放射線診断学では画像診断の基礎を学習する。更に、小児疾患を学習し、更に救急医療とICU、術前・術後管理、院内感染対策、麻酔の実際と整形外科疾患の領域を学習する。							
(到達目標) 基礎的な画像診断ができる。小児疾患、皮膚疾患及び整形外科疾患と関係する臓器の構造と機能を理解し、原因、症状、検査法、治療法及び予後について理解する。救急医療とICU、術前・術後管理、院内感染対策及び麻酔の実際について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど) 臨床医によるオムニバスの講義であり、また概ね1疾患1コマのみの講義であるので、欠席するとその項目が全く学習する機会が無くなるので、欠席をしないようにすること。また、復習の時間が少ないことから、講義の始めと終わりに実施する小テストから、各講義の重要事項を講義時間中に学修し帰宅後に必ず復習すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	小児疾患①					佐倉 伸夫	
2	小児疾患②						
3	小児疾患③						
4	小児疾患④						
5	小児疾患⑤						
6	小児疾患⑥						
7	小児疾患⑦						
8	小児疾患⑧						
9	放射線診断学					福本 航	
10	整形外科疾患①					寺元 秀文	
11	整形外科疾患②						
12	救急医療とICU					大下 慎一郎	
13	術前・術後管理					大毛 宏喜	
14	院内感染対策						
15	麻酔の実際						
成績評価方法							
小テスト 30%、期末テスト 70% 講義への出席と積極的な参加状況や、各講義の始めと終わりの小テスト及び学期末試験により総合評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
わかりやすい内科学(第4版)		井村裕夫編集		文光堂		9784830620300	
看護学NICE病態・治療論(11)皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患		片山一郎		南江堂		9784524237524	
看護学 NICE 病態・治療論(13)産科婦人科疾患 (※臨床医学1~4 共通テキスト)		百枝 幹雄		南江堂		9784524237548	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
自宅学習では、人体の構造と機能のテキスト及び本講義のテキストを参照し、配布資料の復習をすること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ること。							
メールで連絡する。なお、事務宛 kyoumu@hcu.ac.jp に担当教員名及び内容を送り、転送依頼をする。							

授業科目名	生化学(臨床栄養学を含む)				科目コード	N22205	
担当者	山内 有信				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 栄養状態の良否は、健康者の健康の維持・増進だけでなく傷病者の治療や予後にも影響する。栄養の専門職は「管理栄養士・栄養士」であるが、看護師も院内におけるチーム医療の一環である栄養サポートチーム(NST)の一員として重要な役割を担う。そこで、栄養素の基礎知識(栄養素の生化学的代謝)はもちろんのこと、すべての栄養管理の基礎となる「日本人の食事摂取基準」、栄養ケア・マネジメントの基礎知識や栄養管理(疾病と栄養管理)などについて学修する。							
(到達目標) ① 栄養素の役割(生化学的代謝)について理解する。 ② 健康の維持・推進や疾病の治療と栄養素摂取の関係(臨床栄養管理)について理解する。 ③ 看護師として栄養管理における多職種連携の重要性を感じ、臨床においても支援・活用できるようになる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
原則として対面で実施しますが、COVID-19の蔓延状況によっては、C-ラーニングを介したオンデマンド型あるいはZoomを併用したリアルタイム型で実施する。なお、対面・非対面を問わず小テスト形式の課題を原則として毎回課します(締切厳守)。また、出席確認等の不正(疑いを含む)に対しては相応のペナルティーを課します。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	栄養とは					山内 有信	
2	糖質の栄養						
3	脂質の栄養						
4	たんぱく質の栄養						
5	ビタミンの栄養						
6	ミネラルの栄養						
7	エネルギー代謝						
8	水(体液)および食物繊維						
9	食生活と健康						
10	食事摂取基準の概略						
11	栄養ケア・マネジメントの概念(NST 活動への応用)						
12	栄養アセスメント(臨床診査, 臨床検査と栄養状態の判定)						
13	食事療法と栄養補給法(臨床栄養管理の基礎)						
14	母性栄養(妊娠期臨床栄養管理を含む)						
15	高齢者栄養(高齢者の低栄養問題を含む)						
成績評価方法							
単位認定資格(2/3以上の出席・課題提出)を満たしていない場合は評価の対象としない。 課題と期末試験の合計点の総合得点率を基礎点(100%)としたうえで、成績ランクの度数分布を考慮しながら、誤差×係数の加算やその他調整技法による一律調整を実施して最終評価とする。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
栄養・食生活と健康		山内 有信		三恵社		978-4-86487-605-6	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
基礎栄養学―栄養生理化学―		山内 有信		三恵社		978-4-86693-484-6	
リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎		栢下 淳 他		医歯薬出版		978-4-263-26553-6	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業予定範囲のテキスト箇所を事前に目を通して予習し、授業後にも必ずテキストやノートを照らし合わせて復習すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問等はロイロノートの質問カードまたは通信連絡機能を介して受け付ける。							

授業科目名		病因・病態学Ⅰ（総論）				科目コード	N22206
担当者		嶋本 文雄				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
（概要） 病態学では、病気(疾病)の病因(原因)とその成り立ちについて学ぶ病理学を学ぶ。疾病の成り立ちについて理解しておくことが、健康、その予防さらに患者さんを看護する際、医療で一番重要でかつ必須である。病理学的な細胞組織、臓器の傷害による変化、修復、再生、循環障害、炎症、免疫・アレルギー、腫瘍等疾病の基本的な総論を学び、病気の成り立ちを学習する。							
（到達目標） 人間に発生する病態は、同じ病名であっても、個人によってすべてことなり、からだの中でどのような病態が発生しているかを、考えることができる能力を養う。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
人間として、特に授業中は、他人の迷惑になるようなことはしてはいけない。そのような学生は出席しなくても良い。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	病気の成り立ちを理解するための病理学とは。					嶋本 文雄	
2	細胞障害による細胞の変化(変性、壊死、アポトーシス、萎縮)						
3	代謝異常(糖尿病、アミロイド沈着症)						
4	創傷の治癒、肉芽組織、異物の処理						
5	再生と化生、肥大と過形成						
6	血管の構造、虚血と梗塞						
7	血栓、塞栓、充血、うっ血						
8	出血、浮腫、炎症の定義、循環障害と滲出						
9	増殖と肉芽組織、カタル性炎症、						
10	線維性炎症、化膿性炎症、全身感染と敗血症						
11	特殊性炎症、液性免疫と抗体、細胞性免疫						
12	免疫不全症候群、アレルギー						
13	自己免疫病、腫瘍の概説						
14	良性腫瘍と悪性腫瘍の違い(生態の違い、形態の違い)						
15	腫瘍の分類、腫瘍の原因、病理発生、早期発見そして診断						
成績評価方法							
定期試験(70%)並びに小テスト(30%)							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なるほどなっとく！病理学 plus		小林 正伸		南山堂		978-4-525-15181-2	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
病理学		監修堤寛		医学芸術社			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
他の領域にも密接に関係しているので、十分理解するように心がける。							
途中小テストをするので、予習復習をして学習する。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義の際に質問その他に対応する。							

授業科目名		病因・病態学Ⅱ（各論）				科目コード	N22207
担当者		嶋本 文雄				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
（概要） 病態Ⅱでは、病理学の各論について、種々の臓器の代表的な疾患の病因とその成り立ちについて学習する。病院に来る患者さんの多い消化器疾患における炎症、腫瘍について、つぎに循環器系、呼吸器系の代表的な疾患を学ぶ。 （到達目標） 各臓器の代表的な疾患（病気）を十分理解し、その疾患によって他の臓器にどのような影響を及ぼし症状が発症するかを理解する能力を身につける。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
人間として、特に授業中は、他人の迷惑になるようなことはしてはいけない。そのような学生は医療に従事する資格がない。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	動脈硬化、高血圧と心臓					嶋本 文雄	
2	虚血性疾患（狭心症と心筋梗塞）						
3	心不全、心臓弁膜症、心臓・大血管の先天異常						
4	心筋炎、心筋症、動脈瘤、血管炎、ショック						
5	かぜ、インフルエンザ、副鼻腔炎、副鼻腔の癌、喉頭の癌、肺炎						
6	肺結核、珪肺、肺性心、拘束性肺疾患、閉塞性肺疾患						
7	肺癌、胸膜と縦隔の疾患						
8	胃潰瘍、慢性胃炎、胃ポリープ、胃癌、食道癌						
9	腸の良性疾患（虫垂炎、赤痢、クローン病、潰瘍性大腸炎）						
10	大腸癌、小腸癌、カルチノイド腫瘍、						
11	黄疸の成り立ち、ウイルス肝炎、肝硬変						
12	肝癌、脾炎、脾癌						
13	泌尿器系の病理（慢性腎不全、腎炎、ネフローゼ症候群）						
14	急性腎不全、尿路の通過障害						
15	泌尿器の腫瘍（腎細胞癌、ウイルス腫瘍、膀胱癌）						
成績評価方法							
定期試験(70%)並びに小テスト(30%) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
よくわかる専門基礎講座 病理学		高橋 徹		金原出版株式会社			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
新クイックマスター病理学		堤寛監修		医学芸術社			
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
他の領域にも密接に関係しているので、十分理解するように心がける。 途中小テストをするので、予習復習をして学習する。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義の際に質問その他に対応する。							

授業科目名		臨床薬理学				科目コード	N22208
担当者		小澤 孝一郎他				履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 医薬品の作用原理やその影響、医薬品の適正な利用について学修する。医薬品は生体に対して、生理的に何らかの作用を与える化学物質であり、薬の適正使用を欠いた結果として、副作用や薬害による社会問題が発生し、国民の医薬品に対する関心が高いことなどを学修する。新薬の開発が多い近代医療の中で、最も効果が発揮される薬物の使用とともに、副作用を最小限にする適正使用について学修する。							
(到達目標) ・医薬品の代謝を含む生体反応について説明できる。 ・受容体と生体内情報伝達系について説明できる。 ・医薬品の作用原理やその影響について説明できる。 ・高齢者における医薬品の適正使用について説明できる。 ・医薬品の副作用および薬害について説明できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	オリエンテーション 医薬品とは何か					小澤 孝一郎	
2	医薬品の作用:基礎 1(アミノ酸・タンパク質の構造と機能)					担当教員	
3	医薬品の作用:基礎 2(代謝)						
4	医薬品の作用:応用1(受容体と生体内情報伝達系)						
5	医薬品の作用:応用 2(受容体と生体内情報伝達系)						
6	医薬品の作用:応用 3(医薬品と情報伝達系)						
7	高齢者における医薬品の適正使用					小澤 孝一郎	
8	医薬品の副作用と薬害						
成績評価方法							
期末試験 80 点、小テスト 20 点の合計 100 点で評価する。							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義資料は事前に配布しますので、必ず予習・復習をしてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
小澤:ozawak@hiroshima-u.ac.jp							
岡崎:b102760@gmail.com							

授業科目名		臨床病態学Ⅲ				科目コード	N22209
担当者		臨床医				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 病態疾患制御学Ⅰ(臨床医学2)では、看護師に必要な臨床医学を教育する。臨床医学を理解するためには、人体の構造と機能に関する基礎医学的知識が必要となるため、他の授業科目として行っている「人体の構造と機能(基礎)」の知識を参照し、より臨床医学に重要な「構造と機能」を簡明・適切に提示しながら臨床医学の講義を行う。本講では、呼吸器疾患、産科婦人科疾患、腎臓疾患、泌尿器疾患、膠原病・アレルギー疾患及び耳鼻咽喉科の領域を学修する。							
(到達目標) 呼吸器疾患、産科婦人科疾患、腎臓疾患、泌尿器疾患、膠原病・アレルギー疾患及び耳鼻咽喉科疾患と関係する臓器の構造と機能を理解し、当該疾患の原因、症状、検査法、治療法及び予後について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど) 臨床医によるオムニバスの講義であり、また概ね1疾患 1 コマのみの講義であるので、欠席するとその項目が全く学習する機会が無くなるので、欠席をしないようにすること。また、復習の時間が少ないことから、講義の始めと終わりに実施する小テストから、各講義の重要事項を講義時間中に学修し帰宅後に必ず復習すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	耳鼻咽喉科①					立川 隆治	
2	耳鼻咽喉科②						
3	泌尿器科疾患					福島 貴郁	
4	腎臓疾患					小田 弘明	
5	腎透析・腎移植						
6	産科疾患					杉本 潤	
7	婦人科疾患						
8	膠原病・アレルギー①					小山 徹	
9	膠原病・アレルギー②						
10	膠原病・アレルギー③						
11	呼吸器疾患①:症候・呼吸不全					中島 拓	
12	呼吸器疾患②:閉塞性肺疾患					岩本 博志	
13	呼吸器疾患③:びまん性肺疾患					堀益 靖	
14	呼吸器疾患④:感染症					益田 武	
15	呼吸器疾患⑤:肺腫瘍					藤高 一慶	
成績評価方法							
小テスト 30%、期末テスト 70% 講義への出席と積極的な授業の参加状況及び各講義の始めと終わりの小テストと学期末試験等により総合評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
わかりやすい内科学(第4版)		井村裕夫編集		文光堂		9784830620300	
看護学NICE 病態・治療論(11)皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患		片山一郎		南江堂		9784524237524	
看護学 NICE 病態・治療論(13)産科婦人科疾患 (※臨床医学 1～4 共通テキスト)		百枝 幹雄		南江堂		9784524237548	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
自宅学習では、人体の構造と機能のテキスト及び本講義のテキストを参照し、配布資料の復習をすること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールで連絡する。なお、事務宛 kyoumu@hcu.ac.jp に担当教員名及び内容を送り、転送依頼をする。							

授業科目名		臨床病態学Ⅳ				科目コード	N22210
担当者		臨床医				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 病態疾患制御学Ⅱ(臨床医学4)では、看護師に必要な臨床医学を教育する。臨床医学を理解するためには、人体の構造と機能に関する基礎医学的知識が必要となるため、他の授業科目として行っている「人体の構造と機能(基礎)」の知識を参照し、より臨床医学に重要な「構造と機能」を簡明・適切に提示しながら臨床医学の講義を行う。本講では、脳神経外科疾患、精神疾患、老年病学、眼科疾患、抗がん剤治療、放射線治療学、緩和医療の領域を学修する。 (到達目標) 脳神経外科疾患、精神疾患、眼科疾患と関係する臓器の構造と機能を理解し、当該疾患の原因、症状、検査法、治療法及び予後について理解する。また、老年病学、抗がん剤治療、放射線治療学、緩和医療について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
臨床医によるオムニバスの講義であり、また概ね1疾患1コマのみの講義であるので、欠席するとその項目が全く学習する機会が無くなるので、欠席をしないようにすること。また、復習の時間が少ないことから、講義の始めと終わりに実施する小テストから、各講義の重要事項を講義時間中に学修し帰宅後に必ず復習すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	脳神経内科①					青木 志郎	
2	脳神経内科②						
3	脳神経外科					木矢 克造	
4	歯科①					鈴木 雅彦	
5	歯科②						
6	精神科疾患①					大森 寛	
7	精神科疾患②						
8	精神科疾患③						
9	老年医学①:老年病の基礎					嶋本 文雄	
10	老年医学②:老年病の特徴Ⅰ						
11	老年医学③:老年病の特徴Ⅱ						
12	眼科疾患					原田 陽介	
13	抗がん剤治療					藤高 一慶	
14	放射線治療学					今野 伸樹	
15	緩和医療					松浦 将浩	
成績評価方法							
小テスト 30%、期末テスト 70% 講義への出席と積極的な授業の参加状況及び各講義の始めと終わりの小テストと学期末試験等により総合評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者	出版社		ISBNコード		
わかりやすい内科学(第4版)		井村裕夫編集	文光堂		9784830620300		
看護学NICE病態・治療論(11)皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患		片山一郎	南江堂		9784524237524		
看護学 NICE 病態・治療論(13)産科婦人科疾患 (※臨床医学1~4共通テキスト)		百枝 幹雄	南江堂		9784524237548		
参考書							
書名		著者	出版社		ISBNコード		
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
自宅学習では、人体の構造と機能のテキスト及び本講義のテキストを参照し、配布資料の復習をすること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ること。							

授業科目名		人間発達学				科目コード	N12208
担当者		大野 陽子/山田 晃子/藤原 理恵子				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 周産期、胎児期、新生児期、小児期、成人期、老年期の各ライフステージにおける心と身体の発達について学ぶ。各ライフステージにおける発達の特徴を理解することにより、生涯発達を支える看護の基盤を学ぶ。 (到達目標) 1. 各ライフステージにおける身体的・精神的・社会的側面の発達の特徴について説明することができる。 2. 各ライフステージにおける発達の特徴を理解し、生涯発達を支える看護について考えることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
資料は講義時に配布します。予備の配布は行いません。 講義時には教科書や参考書を必ず持参してください。提出物の提出期限は遵守してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	オリエンテーション、発達とは					大野	
2	発達に関する諸理論					山田	
3	妊娠の成立と母体内の成長・発達					山田	
4	胎児期・新生児期の発達					山田	
5	乳児期の心と身体の発達					藤原	
6	幼児期前期の心と身体の発達					藤原	
7	幼児期後期の心と身体の発達					藤原	
8	乳幼児期の発達と遊び					藤原	
9	学童期の心と身体の発達					藤原	
10	思春期/青年期の心と身体の発達					藤原	
11	性と生殖					山田	
12	親性の発達					山田	
13	成人前期の心と身体の発達					大野	
14	成人期/壮年期の心と身体の発達					大野	
15	老年期の心と身体の発達					大野	
成績評価方法							
期末試験（70%）、課題レポート等（30%）により評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。 評価方法が変更されることもあるが、その際には、別途周知を行う。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
生涯人間発達論		服部祥子		医学書院		978-4-260-04133-1	
ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護		中野綾美編		メディカ出版		978-4-8404-6515-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜紹介します。							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各ライフステージにおける発達の特徴を知るとは、看護の対象となる「人」を理解することにつながります。各ライフステージは自分自身も経験するものです。身近に感じながら、興味を持って学んでいきましょう。 教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。 質問・相談は、講義終了時に、教員に申し出てください。							

授業科目名	微生物と感染症				科目コード	N22211	
担当者	野村 俊仁				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	8回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)人の健康におよぼす環境問題は、人々の将来の世代にまで及ぶ重要な問題である。また医療施設において、感染症はきわめて重要な位置を占めている。本講義では人の健康に影響をあたえる生物学的要因である微生物(細菌・ウイルス・真菌・原虫・寄生虫)について学修する。病原微生物と、宿主の抵抗力としての免疫機能に関する知識を習得し、両者のバランスによって発症する感染症を理解すると共に感染制御方法に関して理解を深める。							
(到達目標) 感染症に対する治療や看護についての理解							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語 携帯電話の使用の禁止等							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	総論					野村 俊仁	
2	免疫、感染予防						
3	検査、化学療法						
4	ウイルス感染症						
5	細菌感染症①						
6	細菌感染症②、その他の微生物						
7	様々な感染症						
8	まとめ						
成績評価方法							
期末試験 80 パーセント 小テスト 20 パーセント ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	保健医療福祉行政論					科目コード	N12210
担当者	畠山 京子					履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 公衆衛生及び社会保障制度の概要や理念に基づき行政施策を学び、将来において保健・医療・福祉サービスの担い手として幅広い視野を身につける。							
(到達目標) ・社会情勢の変化に伴う公衆衛生・社会保障制度と施策の変遷を説明できる。 ・医療機関や地方公共団体において、健康課題を捉え、必要な社会資源や連携先を見出すことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語は禁止します。携帯電話の使用は禁止します。配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失した場合、欠席した場合等は、各自の責任において、他の学生からコピー等をしてもらってください							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	はじめに、保健医療福祉行政のめざすもの					畠山 京子	
2	公衆衛生政策の基盤形成						
3	公衆衛生行政について						
4	地域保健の体系と保健師活動						
5	医療保健制度のしくみ						
6	介護保険制度(1)						
7	介護保険制度(2)						
8	社会福祉制度の変遷・福祉行政の実施体制						
9	生活保護						
10	ひとり親福祉						
11	障害児者福祉						
12	子ども家庭福祉						
13	地域福祉						
14	公衆衛生に関する国際的な活動						
15	保健福祉の計画と評価及び今後の課題						
成績評価方法							
授業で行う課題等 30%と、期末試験 70%により ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
保健医療福祉行政論		府川哲夫/磯部文雄		ミネルヴァ書房		978-4-623-09343-4	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
テキストや資料を見て復習をしましょう。社会の動静等にも関心を持ってください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義時間以外には在学していないため、質問や相談等は講義前後の空き時間や振り返りシートを活用してください。							

授業科目名	医療福祉と経済					科目コード	N12211
担当者	田中 雅康/古澤 泰治					履修区分	選択
開講年次	1年	開講期	前期(夏期集中)	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 医療人として社会の役に立ち、自らもやりがいを持って医療人の仕事に取り組むためには、医療技術を会得するだけでは十分ではありません。職場となる病院の健全経営への取り組み、社会的役割、そして医療を取り巻く社会・経済状況を理解し、しっかりとした目的意識を持ちながら仕事に取り組む必要があるのです。また、そのような姿勢が医療人としての器を大きくしていきます。本科目では、より大きな社会の視点から医療サービスを考えていきます。 [田中] 経営についての基本的な概念、手法および日本の企業経営の現状等について理解する。これが基本である。この基本に立脚して病院経営の仕組みについて理解していきます。 [古澤] 経済学の基礎であるミクロ経済学(およびマクロ経済学)を簡潔に紹介した後、医療保険制度がはらむ問題点を経済理論的に考察します。そして、保険市場の役割をリスクと情報の観点から考えていきます。 (到達目標) [田中] 経営学の基礎知識を使って、企業や病院などの組織の行動を理解でき、簡単な解説ができるようになる。 [古澤] 経済学的思考により、医療をめぐる社会経済問題を論理的に考えられるようになることを目指します。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
※夏期集中講義のため日程については別途指示							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	企業経営の概要					田中 雅康	
2	経営管理の概要						
3	日本的経営						
4	病院経営の概要						
5	病院経営の会計						
6	創造力による改善						
7	アイデア発想の演習						
8	経済の仕組みと日本の医療問題					古澤 泰治	
9	需要と供給(ミクロ経済学の基礎)						
10	ミクロ経済政策と市場の反応						
11	市場の失敗とミクロ経済						
12	医療保険制度と医療市場						
13	医療保険制度改革の影響						
14	リスクと情報						
15	保険市場						
成績評価方法							
各担当教員が行う試験(授業中の課題も含む)の合計点で評価する。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ベーシック経済学:次につながる基礎固め [新版]		古沢 泰治・塩路 悦朗		有斐閣		978-4-641-12485-1	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
[田中] 重要なことは何度も話すのでメモを取るようにしてください。							
[古澤] 上記参考書を受講前に読んで予習しておくと、授業への理解が格段に深まります。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
[古澤] furusawa@e.u-tokyo.ac.jp							

授業科目名	人間福祉学					科目コード	N12212
担当教員名	畠山 京子/石野 敏夫					科目区分	選択
開 講 年 次	2 年	開 講 期	前期	授業回数	15 回	単 位 数	2
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
【概 要】 〔石野〕 一回限りの人生・・・人間・人生福祉とは何か。人間としての生き方、福祉の真実の探求に努める。 〔畠山〕 社会福祉の定義・理念、生活保護、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、実施体制を理解し、地域等における保健・医療・福祉の連携のあり方を理解し、説明ができる。 【到 達 目 標】 福祉の現状を理解し、医療のみではなく、医療・福祉の観点を一体化して考えられる能力を持つ。 履修における注意事項(受講ルールなど) 出席を重視するので、遅刻、早退、授業中の退出等については厳しく注意する。その他、具体的な注意事項に関しては、初回授業時に伝達する。 〔石野〕 集中講義期間等で実施予定(日程については掲示板等でお知らせいたします)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容						
1	医療と福祉の違い					畠山 京子	
2	間福祉に関する倫理について						
3	権利擁護						
4	人間福祉と ICF						
5	人間福祉と ICF						
6	社会福祉に関する定義・理念の基本的な理解						
7	社会福祉の制度と施策(1)						
8	社会福祉の制度と施策(2)						
9	社会福祉の実施体制について						
10	社会福祉の専門職と保健・医療・福祉の連携について						
11	問題意識:自分自身を見つめる―「生活適応」自己との対話(自己覚知)					石野 敏夫	
12	人間存在の根本方式―生物としての次元―文化社会の次元、存在の次元						
13	人生福祉の基本方式:思考(個人・環境)と行動(直接・間接)						
14	社会福祉から人間福祉、人間福祉から人生福祉への流れ						
15	人生福祉の根本目標:人生態度の確立、科学と宗教:実践家像の探求						
成 績 評 価 方 法							
各授業中で行う小記述レポート50%と、期末の課題(レポート)50%で評価します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名		社会と健康				科目コード	N12214
担当者		嶋本 文雄				履修区分	選択
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 我々生き物(ひと)は、時代とともに環境に即した世界(社会)に生きてきた。その社会で生きていくには、健康と何かを常に考え行動しなければいけない。 (到達目標) それぞれの個人がめざしている人生で、自分の健康をいかに維持していくが重要な点であるかを理解し、それが社会に貢献できるかを学ぶ。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	はじめに ヒトと食べ物					嶋本 文雄	
2	生活習慣とは						
3	生活習慣病とは						
4	食欲の暴走						
5	健康寿命						
6	現代の生活環境と健康危機						
7	峰群崩壊症候群						
8	疾病の発生と予後、メタボリックジミノ						
9	生活習慣病の疫学特性						
10	疾病予防の考え方						
11	健康づくりのための指針とガイドライン						
12	皮下脂肪と内臓脂肪の違いは						
13	「健康日本 21」の目標						
14	生活習慣病の背景						
15	まとめ；						
成績評価方法							
各講義終了後の小テスト20%、期末の最終試験80%の割合で評価します。なお試験資格は15回の講義で、出席は、10回以上は必須。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
プリントを配布							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
生活習慣病の科学		中尾一和 編		京都大学学術出版会		ISBN978-8140-0050-0c0047	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日常の生活で我々の環境と健康のつながりについて関心をもって、新聞、書籍などを読む習慣を身につける。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
在室中は、いつでも訪問可。							

授業科目名	セクシュアリティと看護				科目コード	N22212	
担 当 者	看護教員				履 修 区 分	必修	
開 講 年 次	2 年	開 講 期	後期	授 業 回 数	8 回	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
【概要】 生物学的な性のみでなく社会・文化的な性について理解する。また、性差を理解した上で心身の健康について考えてみる。							
(到 達 目 標) 1. 性および性差について理解する。 2. 性の健康について考えることができる。 3. 社会の中にあるジェンダーに気づき、説明できる。 4. 性別ではなく、個人を基礎とする考え方に立って行動できる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
資料は講義時に配布します。予備の配布は行いませんので、無断欠席や紛失の場合は、各自の責任において対応してください。提出物は期限を厳守してください。授業中の私語、携帯電話の使用は禁止です。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	ガイダンス・生物学的な性					看護教員	
2	性と生殖とは						
3	性教育の現状と課題						
4	性感染症						
5	ジェンダーとは						
6	高齢者の性						
7	マイノリティの性						
8	性の多様性						
成 績 評 価 方 法							
課題、レポート、グループワーク等の総合評価。 欠席および課題提出期日が守られない場合は、評価しない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておきましょう。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください							

授業科目名		看護と倫理				科目コード	N20207
担当教員名		古澤 幸治/岡本 慎平				科目区分	必修
開 講 年 次	1 年	開 講 期	前期	授 業 回 数	15 回	単 位 数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要) 生命・医療倫理に関する基礎的な原則や概念、またその歴史を、具体的な事例を元にして学ぶ。							
(到 達 目 標) 個々の医療問題に対して、そこで何が倫理的な懸念となっているのかを単に理解するだけでなく、実践に繋げることができるようになることを目標とする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
毎回、その授業で扱う問題に対する自分の見解をコメントしてもらう。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	倫理とは					古澤 幸治	
2	医療・看護における倫理の必要性					岡本 慎平	
3	古代における医療倫理:ヒポクラテスの誓い						
4	看護師の成立:ナイチンゲールの生涯とナイチンゲール誓詞						
5	近代医療の成立と看護						
6	医学研究の暴走とニュルンベルク綱領						
7	患者の権利						
8	アドボカシーとしての看護実践						
9	SNS 時代のプライバシー						
10	脳死と臓器移植(1)臓器移植法以前						
11	脳死と臓器移植(2)臓器移植法以降						
12	終末期の医療(1)ターミナルケアの問題						
13	終末期の医療(2)積極的安楽死と消極的安楽死						
14	看護者の倫理綱領						
15	全体のまとめ						
成 績 評 価 方 法							
授業内でのコメントシート 30%、期末試験 70% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
医学生のための生命倫理		盛永審一郎・松島哲久		丸善出版			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業内容の資料を毎回配布するが、テーマが複数回続くこともあるため、前回の資料も持参するようにする。歴史上の事例を多く扱うため、興味を持った事例はインターネット等で調べてみる。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールアドレス:shimokamoto@gmail.com メールで連絡をとる場合、必ず大学・学科・学籍番号・氏名を明記する。							

授業科目名		看護の法と責務Ⅰ（総論）				科目コード	N22213
担当者		大田 晋				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
（概要） 医療サービスは、患者をはじめサービス利用者の生命、健康さらに生活に大きく関わるものであることから、さまざまな医療関係法によって厳しく規定・規制されている。看護師は医師と同様、医療分野におけるサービス提供者として重要な役割と責任を持っており、法的ルールの中でその責務を果たすことが求められる。 「看護の法と責務Ⅰ」では、まず法・法律の基礎知識を学び、次に医療関係法規とそれに基づき整備されているさまざまな制度を学習する。また、看護師にとって自分の業務と資格を規定する法律である「保健師・助産師・看護師法」を詳しく学ぶ。 さらに医療・看護に関連する訴訟事例を学習し、それを通して看護（師）の法的責務を具体的に理解する。							
（到達目標） 看護を含む医療は、法律によるルール（規制）にいかに関係しているか、また、法的責任を厳しく求められているかを実感し、看護業務の重要さと重大さを学ぶ。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
① 配布する講義レジュメをもとに自分のノートを作成する（大学ノートの左ページに配布レジュメを貼り、右ページに講義を聞きながらノートを取る）。A4 サイズのノートを準備する事。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	イントロダクション～講義の目標、講義の概要、授業の進め方、ノートの作成の仕方など。					大田 晋	
2	法・法律の基礎知識。						
3	わが国の医療制度～全体像、基本構造、特徴と課題						
4	医療専門職の資格に関する法律～法体系、医師法その他。						
5	「医療法」～病院・診療所、広告規制、医療法人、医療計画など。						
6	医療費保障制度～医療費の動向、医療費保障制度の全体像						
7	健康保険制度と国民健康保険制度						
8	高齢者医療制度						
9	看護師の現状と看護の法体系						
10	「保健師・助産師・看護師法」～その1						
11	「保健師・助産師・看護師法」～その2						
12	看護に関わるその他の法律						
13	医療・看護における法的責任（理論）						
14	医療・看護に関わる訴訟（事例）						
15	まとめと総復習						
成績評価方法							
期末試験 受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
特になし。							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
「はじめての社会保障」		田中耕太郎・椋野美智子		有斐閣		978-4-641-22072-0	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
配布レジュメをもとに必ず自分のノートを作ること。毎講義後にレジュメとノートを読み返すこと。（復習が極めて重要）							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
個別に質問を受ける。							

授業科目名		看護の法と責務Ⅱ（各論）				科目コード	N22214
担当者		大田 晋				履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
（概要） 看護師の業務は典型的な対人サービスであり、生きた一人の人間（患者など）を相手として行われる。そうした相手は疾病の治療だけでなくさまざまな生活上の問題も併せ持っていることも多い。病気をはじめ人の一生で出会うさまざまな困難に対し国民全体で支援していく制度が社会保障制度であるが、社会保障制度のうち医療分野については前期の「看護の法と責務Ⅰ」で学ぶので、後期の「看護の法と責務Ⅱ」では<u>社会保障制度のうち介護、福祉。年金など医療以外のもの</u>について学習する。							
（到達目標） 前期と合わせ社会保障制度全般について学習することにより、社会保障制度の知識と理解を完成させる。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
配布する講義レジュメをもとに自分のノートを作成する（大学ノートの左ページにレジュメを貼り、右ページに講義を聞きながらノートを取る）。A4サイズのノートを準備する事。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	イントロダクション（講義の目標、概要、授業の進め方、ノートの作り方など）。					大田 晋	
2	社会保障とは～人の一生、社会保障の定義、歴史など。						
3	社会保障と社会・経済の関わり～特に人口との関わり。						
4	社会保障制度の全体像と基礎理論。						
5	介護保険制度～制度の目的と概要。						
6	介護保険制度～制度の仕組み。						
7	介護保険制度～介護サービスの種類						
8	介護保険制度～介護サービスの利用						
9	福祉制度～福祉の意味、生活保護制度など。						
10	福祉制度～障害者福祉、児童福祉など。						
11	年金制度～制度の概要と役割。						
12	年金制度～基礎年金と厚生年金。						
13	労働法～雇用保険、労災保険など。						
14	社会保障に関する行政と財政。						
15	社会保障の課題と行方						
成績評価方法							
期末試験							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
特になし							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
「はじめての社会保障」		田中耕太郎・棕野美智子		有斐閣		978-4-641-22072-0	
教員からのメッセージ（予習・復習の方法に関するアドバイスなど）							
配布レジュメをもとに必ず自分のノートを作ること。毎講義後にレジュメとノートを読み返すこと。（復習が極めて重要）。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
個別に質問を受ける。							

授業科目名	医療安全論					科目コード	N22215
担当者	藤原理恵子/塚本仁美/榊 美穂子/藤井隆行/小泉千恵子					履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 安全な医療に関する制度、システム、安全は医療環境への対策及び看護の専門職者としての事故・安全管理・危機管理・感染症対策に関する基礎知識を学び、臨地実習で常に安全を意識して、リスクや危機を予測し、回避する行動がとれる基本的態度に活用できる知識を学修する。 (到達目標) 1. 安全な医療に関する制度、システム、安全な医療環境への対策について説明できる。 2. 事故発生のメカニズムと発生要因がわかり、事故回避や危機、リスク回避、及び方策を考えることができる。 3. 看護の専門職人としての事故・安全管理・危機管理について説明できる。 4. 医療現場における感染症対策について説明でき、自分自身で感染症回避の行動がとれる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
教科書を持参してください。資料は講義時に配布します。予習・復習をして講義に臨んでください。							
提出物の提出期限は遵守してください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス／医療安全と看護の理念					藤原	
2	医療安全に対する行政および組織的な取り組み					小泉	
3	事故発生のメカニズムとリスクマネジメント					榊	
4	患者・家族との協同と安全文化の醸成					小泉	
5	看護における医療事故と安全対策の概要					藤井	
6	医療事故後の対応					塚本	
7	精神科における医療安全					藤井	
8	高齢期における医療安全					塚本	
9	臨地実習における医療安全①					塚本	
10	臨地実習における医療安全②					塚本	
11	医療安全とコミュニケーション 組織的な体制					藤井	
12	感染症対策の実践					小泉	
13	医療機器関連の事故防止について					小泉	
14	看護師の労働安全衛生上の事故防止					榊	
15	コミュニケーションエラーを予防するコミュニケーションスキル					榊	
成績評価方法							
期末試験（70%）、小テストや課題および受講態度等（30%）で総合判定する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全		松下由美子他 編		メディカ出版		978-4-8404-7212-8	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜紹介							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日頃の安全や事故・危機に関する情報に目を向けることは、事故やリスクに関する情報が知識となって、安全や感染予防の行動に結びつきます。学修を自己の学びに転化できるような学修方法の修得に期待します。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義終了時に、各担当教員に質問等をしてください。							

授業科目名		公衆衛生学				科目コード		N22216	
担当者		福田 伸治				履修区分		必修	
開講年次		2年	開講期	前期	授業回数	8回		単位数	1
授業の概要・到達目標									
(概要)									
健康の概念、公衆衛生の概念、環境問題と健康のかかわり、保健・医療・福祉・介護の制度などについて学習し、社会・環境と健康の関わりについて理解を深める。									
(到達目標)									
1 健康および公衆衛生の概念と意義を説明することができる。									
2 人の健康を保つための生活環境の重要性を説明することができる。									
3 保健、医療、福祉、介護などの社会保障の概念と制度を説明することができる									
履修における注意事項(受講ルールなど)									
授業に集中し、授業中の私語やスマートフォンなどの携帯電話の使用を禁止する。									
他の学生の授業を阻害する行為を行う物は、受講を制限する場合ある。									
必要に応じてプリントを配布するので、紛失しないようにすること。									
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。									
回数	講義内容						担当者		
1	公衆衛生の課題、人口問題、疫学的方法による健康の理解						福田 伸治		
2	環境問題と健康								
3	栄養と健康、感染症と予防								
4	健康の概念、母子保健、学校保健								
5	産業保健、精神保健								
6	成人保健、高齢者保健								
7	地域保健、医療制度								
8	まとめ								
成績評価方法									
期末試験 100%									
ただし、受講資格を満たしていない場合は評価の対象としない。									
教科書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
コンパクト公衆衛生学第7版		松浦賢長他編		朝倉書店		978-4-254-64050-2			
参考書									
書名		著者		出版社		ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)									
社会生活における健康維持に関する制度や仕組みに教務を持ち、日頃から新聞等を利用して考察して下さい。									
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。									
講義終了時に対応します。									

授業科目名		看護学基礎演習Ⅱ				科目コード	N20202
担当者		矢野美紀				履修区分	必修
開講年次	2 年	開講期	後期	授業回数	15 回	単位数	1
授 業 の 概 要 ・ 到 達 目 標							
(概 要)							
1 年次で学んできた『人体の構造と機能』について復習すると共に、より臨床医学に重要な「構造と機能」を簡明・適切に提示しながら、疾病の原因、疾病の成り立ち、病態を学修する。特に、臨床で遭遇する頻度の高い疾患を中心に、診断・治療・看かた等ケーススタディを用いた問題演習を多く取り入れることで、看護実践の基本となる知識を修得する。							
(到 達 目 標)							
1. 「人体の構想と機能」の分野における国家試験の出題基準に基づく項目に関する理解ができ説明ができる。							
2. 「人体の構造と機能」の理解をコアとし、看護学への知識獲得への発展をさせることができる。							
3. 2 年次の国試に関する学修を手掛けることで、早期からの国試対策への意識が高められる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
『人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ』と連動し、国試対策の一環である科目である。その強化を図るため個人作業および口頭試問等の演習を主体とすることから、各自で積極的に取り組むことが求められる。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講 義 内 容					担 当 者	
1	ガイダンス/『人体の構造と機能』の側面から看護を考える					矢野 美紀	
2	『人体の構造と機能』に関する確認(復習)テスト						
3	強化テスト①						
4	強化テスト②						
5	国試対策講座① 講義【概要・重要ポイント】						
6	解き直し						
7	補講						
8	力試しテスト						
9	演習①						
10	演習②						
11	演習③						
12	演習④						
13	国試対策②:講義【出題傾向や受験テクニック】						
14	強化テスト③						
15	まとめ						
成 績 評 価 方 法							
定期試験 80%・課題提出物評価および演習態度・単元ごとのテスト評価等 20%とする。ただし、受験資格を 満たない場合は評価の対象としない。							
教 科 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
参 考 書							
書 名		著 者		出 版 社		ISBN コード	
生体のしくみ 標準テキスト 第3版【動画付】		高松研		医学映像研究センター		978-4-8404-5374-5	
ステップアップ 解剖生理ノート		増田敦子 監修		サイオ出版		978-4-9071-7603-7	
ナーシング・グラフィカ 解剖生理学		林正健二編		メディカ出版		978-4-8404-5374-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1 年次に単位修得した人体の構造と機能に関する内容であり、演習を通して、今後展開される看護学の基盤づくりとしての土台となる重要な科目なので、自分の学習方法(ノートづくりなど)を見つけ完全にマスターできるよう努めてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
随時対応します。または E-mail:yano@hcu.ac.jp							

授業科目名		情報科学Ⅰ(情報リテラシー)				科目コード	N12218
担当者		梶岡 寿満子				履修区分	必修
開講年次	1 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) Microsoft Office2016 を使った情報リテラシーの学修。看護学科の学生に必要な文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトの基本技術を、実習により修得する。 (到達目標) Windows の基本操作ができる。Word・Excel・PowerPoint の基本機能を使って、効率よくレポート作成や資料作成ができる。ブラインドタッチがある程度できるようにする。 履修における注意事項(受講ルールなど) 授業中はスマートフォンや携帯電話の使用を禁止とするので、机上に置かないこと。 授業時間内にできなかった課題は、空き時間を使い、次の授業までに済ませておくこと。 欠席や遅刻をしないこと。 授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス、C-Learning の使い方、タイピング					梶岡 寿満子	
2	Windows の基礎						
3	Word による文字入力とファイル管理						
4	Word による基本的な文書の作成						
5	Word による表作成						
6	Excel による集計表の作成						
7	Excel による関数を使った表作成1(前半)						
8	Excel による関数を使った表作成1(後半)と印刷設定						
9	Excel による関数を使った表作成2						
10	Excelによるグラフ作成						
11	PowerPoint によるプレゼンテーションの作成						
12	PowerPoint による画像・図形作成						
13	PowerPoint によるグラフ作成と画面切り替え・アニメーション						
14	演習						
15	総合課題とフィードバック						
成績評価方法							
タイピング 10%、授業内課題・総合課題合わせて 60%、期末試験 30%とする。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
医療従事者のための 情報リテラシー第2版		中村 健壽 森 由紀		日経 BP 社		978-4-8222-5343-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なし							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
空き時間に、ブラインドタッチの練習を行うこと。 空き時間を使って、復習をしておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
C-Learning の連絡を使ってメールを送ってください。							

授業科目名	情報科学Ⅱ（保健統計学）					科目コード	N12219
担当者	田中 武志／池内 実					履修区分	必修
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
（概要） 保健統計は、集団の健康状態を把握するものである。保健師・看護師として保健医療福祉活動を実践する際には、各種保健統計資料からの情報の収集・整理及び活用、調査・研究に関する能力が求められる。保健統計では、健康指標ならびに人口に関する指標、データの特徴を記述する記述統計について学習する。 （到達目標） 1. 保健医療分野における統計の意義と活用事例について述べることができる。 2. 人口統計の種類と定義・内容を述べることができる。 3. Excelを活用して要約統計量の算出、表・グラフの作成を行うことができる。							
履修における注意事項（受講ルールなど）							
講義中の私語及びスマートフォンの使用禁止。 レポート・課題は講義終了後に担当講師に提出すること。 配付資料は、予備がありませんので、紛失した場合は、各自の責任において、他の学生からコピーをしてください。 前期同様、2クラス編成となります							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	ガイダンス、統計ってどんなもの(1)(身近な統計から医療統計、看護のなかでの統計学)					池内	
2	統計ってどんなもの(2)(なぜ統計がひつようか?、統計で使う基本的な用語)						
3	統計ってどんなもの(3)(記述統計と推測統計)						
4	統計ってどんなもの(4)(データの図表化[グラフ]:演習)					池内、田中	
5	統計ってどんなもの(5)(2変数の記述統計[変数間の関係を探る])					池内	
6	統計ってどんなもの(6)(2変数の(2変数の要約・図表化[クロス集計]:演習)					池内、田中	
7	標本分布の把握(1)(代表値について[平均値等])					田中	
8	標本分布の把握(2)(ばらつきの指標[分散、標準偏差等])						
9	標本分布の把握(3)(分布の中心傾向の数値要約[平均等]:演習)					田中、池内	
10	標本分布の把握(4)(ばらつきの指標の数値要約[分散、標準偏差、四分位偏差等]:演習)						
11	母集団モデルになる様々な確率分布(1)(正規分布、指数分布、一様分布等)					田中	
12	母集団モデルになる様々な確率分布(2)(正規分布、指数分布、一様分布等:演習)					田中、池内	
13	医療・福祉・保健衛生における統計資料の活用(1)(国勢調査、人口動態統計等)					池内	
14	医療・福祉・保健衛生における統計資料の活用(2)(統計法、プライバシー、個人情報の取扱)						
15	保健統計学のまとめ					田中	
成績評価方法							
小テスト・レポート：50%、期末試験：50%とする。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
なし							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
基礎からわかる看護統計学入門		大木秀一		医歯薬出版		978-4-263-23683-3	
病院情報システムの利用者心得		日本医療情報学会編		南江堂		978-4-524-25709-6	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義、演習、小テストで繰り返し出てきた用語や概念について、よく復習をしておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
Tel:(082)257-5082 E-Mail:jouhou2@medinfo.hiroshima-u.ac.jp							

授業科目名	情報科学Ⅲ(看護情報学)					科目コード	N12220
担当者	池内 実					履修区分	必修
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 医療・福祉・保健の情報化は、想像を超えた速さで日々進化しています。この授業では、「情報」に関する基礎的な知識、「情報」を取り扱う上での必要とされる情報倫理やコンピューターリテラシー、情報セキュリティ、医療・福祉・保健を支える医療情報システムについて学習する。 (到達目標) 1. 医療及び看護において情報を活用する方法について理解する。 2. 医療・看護・福祉を支える情報システム(病院情報システム、電子カルテ、広域医療システム 等)について理解する。 3. 「情報」を取り扱う上で必要とされる情報倫理(プライバシー、守秘義務、個人情報、知的所有権)について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語及び携帯電話・スマートフォンの使用の禁止。 講義資料は当日の出席者のみ配布します。 配付資料は、予備がありませんので、紛失した場合は、各自の責任において、他の学生からコピーをしてください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						担当者
1	ガイダンス、看護情報学とは						池内 実
2	情報処理技術①(ハードウェア、マルチメディア)						
3	情報処理技術②(ソフトウェア、ネットワーク、データベース)						
4	情報処理技術③(情報システムのセキュリティ、知的所有権)						
5	看護における情報活用(看護におけるデータ・情報の特徴、活用例)						
6	情報倫理と法①(情報倫理とは、プライバシー、守秘義務)						
7	情報倫理と法②(OECD8 原則、個人情報保護法、個人情報の取り扱いガイドライン)						
8	医療情報システム①(医療情報の特性、医療情報システム、医療記録の電子化)						
9	医療情報システム②(医療を支える情報システムの構成)						
10	医療情報システム③(病院情報システムの機能-1)						
11	医療情報システム④(病院情報システムの機能-2)						
12	医療情報システム⑤(保健・福祉・検診を支えるさまざまな情報システム)						
13	医療情報システム⑥(広域医療情報システム、地域看護情報システム)						
14	標準化(医療情報の標準化、看護用語の標準化)						
15	看護情報学まとめ						
成績評価方法							
期末試験 50%、小テスト・レポート 40%、講義への参加度 10% (出席状況) ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
医療情報 第5版 医療情報システム編		日本医療情報学会		篠原出版新社		978-4-88412-387-1	
医療情報 第5版 情報処理技術編		日本医療情報学会		篠原出版新社		978-4-88412-389-5	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
予習は必要ありませんが、教科書や配付資料の用語など、わからないこと、疑問に感じたことがあれば調べて確認すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
E-mail:mikeuchi-hcu3@memoad.jp メールするときは、見出しに必ず、学校名／学生番号／氏名を記述すること。							

授業科目名		疫学				科目コード	N20221
担当者		田中 純子				履修区分	選択
開講年次	3 年	開講期	前期	授業回数	15 回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要)○保健統計・健康水準・医学研究デザイン等を習得する。○疫学の基本を理解し、その疫学方法論を習得する。○スクリーニングの目的と要件、評価を理解する。○主な疾患の疫学に関する知識を習得する。○疫学研究における倫理を理解する。○医学統計学を学ぶ。○臨床試験について学ぶ							
(到達目標) 公衆衛生看護の基盤となる疫学の概念と方法について理解する							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
出席状況が担当講義数の3分の2以下の場合、試験を受けることができない場合がある。 他の学生の受講を阻害する行動を取るものについては、受講を制限する場合がある。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	健康と疾病に関する総論					田中 純子	
2	保健統計、死因、健康水準 1						
3	保健統計、死因、健康水準 2						
4	疫学の概念、疫学指標						
5	医学研究と倫理						
6	暴露効果の指標(相対危険・寄与危険)						
7	疫学調査法-1(研究デザイン)						
8	疫学調査法-2(バイアス、交絡とその制御方法)						
9	スクリーニング						
10	疫学演習-1(疫学研究・スクリーニング)						
11	疫学演習-2(食中毒演習、他)						
12	疫学研究と統計						
13	主な疾患の疫学-1						
14	主な疾患の疫学-2						
15	疫学と公衆衛生看護(高齢者保健)						
成績評価方法							
成績評価は、下記について総合的に判定する。 ○講義の出席状況。○筆記試験の成績。○演習レポート提出状況。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
疫学・保健統計学		牧本清子		医学書院			
はじめて学ぶやさしい疫学		監修 日本疫学会		南江堂			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
国民衛生の動向 2016/2017		厚生統計協会		厚生労働統計協会			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
医学研究、臨床研究を行う際に必要な疫学基礎・実践・方法論の講義、演習を通じ、疾病制御をめざした研究の実施方法や思考過程を学ぶこと。講義の内容および順序は、変更する場合があるので留意すること。講義の内容や演習の内容に関する質問は、いつでも受付けます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
田中 純子 広島大学 大学院医歯薬保健学研究院 疫学・疾病制御学 教授 Tel: 082-257-5161(direct) 082-257-5162(office) Fax: 082-257-5164 E-mail: jun-tanaka@hiroshima-u.ac.jp							